

令和7年度第7回 多摩市男女平等参画推進審議会 要点録

開催日時：令和8年2月19日（木）17：00～19：00

場 所：TAMA女性センター 活動交流室

出席委員：中島康予委員、木本喜美子委員、神子島健委員、木村有希委員（オンライン参加）、島田直広委員、高井雅秀委員、本間まり子委員（会長・副会長以下50音順）

欠席委員：鈴木景子委員

計画改定受託事業者：（株）文化科学研究所

事務局：古谷部長、西村課長、武井係長、米山主任

傍聴者：なし

（発言者凡例：◎会長、●副会長、○委員、□（株）文化科学研究所、◇事務局）

1 開会

2 議題

（1）〔報告〕令和7年度第6回多摩市男女平等参画推進審議会要点録の確認について

○（※意見・修正なし）

◇修正・追加がある場合は2月27日（金）までにご連絡を頂きたい。頂いた意見を反映し、要点録を「確定」とさせて頂く。

（2）〔協議〕第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画中間見直しについて

（資料2～5について事務局より説明）

○資料4「パブリックコメントに寄せられたご意見への対応について」だが、No.7の意見「女性特有のがん検診の受診率の低さが気になりました」とあるが、対象者にはどのように周知をしているのか。また対象は何歳の女性になるのか。

◇広報に掲載するほか、対象となる全市民に通知をお送りしている。健康診断の一部は自己負担として有料である。乳がんであれば40歳以上、子宮頸がんであれば20歳以上の女性を対象としている。有職・無職の別にかかわらず、該当年齢の市民全員を対象としている。

○市から通知が届いたことがあるが、積極的に受診しようと思える内容ではなかった。受診できる期間や時間も限られているため、仕事が忙しく受けることができなかった。広報の充実に加え、実施日や実施時間の更なる工夫が求められると思う。

◇所管である健康推進課としての課題でもあるので、女性の健康維持に関する啓発ということで、今後も働きかけていきたいと考えている。

- この審議会を通して、乳幼児を含む子どもの年齢に応じた健康診断や相談には、重要な意義があると学んだ。子どもの成長過程を把握するだけでなく、保護者の状態や生育環境も同時に把握することが出来る貴重な機会である。特に、子どもへの虐待や親の精神状態、様々な問題を抱えている事を健康診断等でキャッチして、今後も行政全体で連携して支援を行ってほしい。日本人のがんの発症率は2人に1人という話もある。行政のPRをもっと行って頂いて、受診率を高めることに繋げてほしい。
- 男性は、職場での健康診断でがんを発見する機会が多いと思うが、非正規雇用や専業主婦の女性の場合、何年も健康診断を受けていないという方も少なくないのではないか。市としても、女性に対する働きかけを継続することは大切であると思う。
- ◇がん検診を推奨する広報ポスターのジェンダー表象に関するコラムを読んだ。女性向けのポスターは、長年がん健診を受けなかった事を怠惰として責めており、男性向けのポスターは、「家族のためにも受診してほしい」というメッセージを訴えているというもの。性別に関係なく、自分の大切な体を自分でケアするという視点は大切だと思うので、身体的な健康保持だけではなく、ジェンダー視点まで含めた意識上での健康啓発についても、健康推進課と連携して取り組んで行きたい。
- パブリックコメントの「意見提出：3件」「延べ意見数：7件」とあるが、これはどういうことか。
- ◇3名の方から意見を頂き、その中の意見を項目ごとに細分化して、7件という扱いになっている。
- 3人の提出者ということか。少々少ないように感じるが、男女平等に関心の高い方が回答をしてくれたと考えるべきか。
- ◇例えば目の前に道路ができるとかそういう計画とは異なり、本計画は「男女平等」の理念や人々の意識に重きを置いた計画であるため、自分事としてとらえにくく、関心のある方が限られてしまったのではと推察をしている。
- 関心がない人にとってはあまり目につかないかもしれない。
- ◇件数は少ないものの、計画について前向きな評価をして頂いた意見が多かった。これは審議会や市のこれまでの取組について一定の評価を頂けたものと感じている。
- 10・11 ページの体系図について、12 ページの重点施策と内容がずれているようだが。
- ◇体系図のほうに誤りのため、修正する。
- 表の中の記号（◆、★等）は、どのような意味があるのか。
- ◇新規施策などの意味がある。目次に説明を加えている。
- 記号の意味の説明だが、目次ではなく表の近くに掲載した方が分かりやすいのではないか。
- ◇確かに表の近くに掲載した方が分かりやすいので、そのように修正する。記号のデザインについても、前回の計画はカラー印刷だったが今回はモノクロ印刷の予定なので、白黒でも判別が付きやすい記号に変更する予定である。
- P13 からの「目標設定事業」だが、事業番号が飛んで記載されているのが気になる。
- ◇数値目標のない施策については、第3章「中間見直しの内容」でお示ししている。
- 初めて見る方からすると、事業番号が飛んでいる事が少々分かりにくいので、それについての説明を加えてほしい。
- ◇確かに2種類の施策（目標設定あり、なし）がある事について少々分かりにくいので、

P13に説明を加えたい。

- 新しく追加された「コラム：多摩市の取組」は写真もあり、読んでいてほっとする。
- ◇計画に掲載した施策に関連する市の取組などについて取り出して記事にしている。
- 本文の中で「本市」と記載された部分と「多摩市」と記載された部分がある。統一してはどうか。
- 大学の報告書等でも「本学」と記載することは避けている。論文等に引用されることも考慮すると、「本市」より「多摩市」のほうがよいのではないか。
- 市長挨拶については、「本市」が適切ではないか。
- ◇引用の可能性については想定していなかったので、重複して記載している部分については頻度を調整しつつ、基本的には、「多摩市」として修正したい。
- 文字フォントについて、表中も含めて全て「ゴシック体」を使用されているようだが、何か意味はあるのか。
- ◇全文、ユニバーサルデザインフォントの一つである「UDゴシック体」を使用している。
- 少々堅い印象があるように思う。文章と、表中やグラフの文字とで差をつける等すると、視認性が高まるのではないか。20年位前は明朝体で記載することが基本であったが、最近ではゴシック体が多いのか。
- ◇どのフォントが適切か、全体のバランスを見て改めて検討したい。
- P43の「図表14 管理的地位（係長職以上）にある市職員の状況」だが、棒グラフと線グラフが混在する表で、どの数字が何を表しているのか少々分かりにくい。
- ◇視認性がよくなるように修正したい。
- コラムの記載はとてもいいと思ったが、市民がこれを読んで次のアクションに繋がれるように、それぞれの記事に所管課等の情報を追加するとより良くなると思う。
- ◇市公式ホームページの各事業ページに飛ぶ二次元コードを入れるほか、所管課の情報を加える等修正したい。
- P42の「図表12 多摩市の委員会・審議加藤における女性委員の比率」だが、比率が横ばいのグラフを掲載することによって何を表したいのか、注を加えてはどうか。
- ◇グラフに追記したい。
- ◇第4章について、修正意見等があればご意見を頂きたい。
- 「第4章」の用語集「SNS」について、既に市民に認知された言葉であるように思うので、削除してもよいのではないか。
- 年表だが、多摩市の部分を目立つように左側にしてはどうか。
- ◇そのように修正させて頂く。
- 用語集「アンコンシャス・バイアス」だが、説明が少々マイルドなので、男女平等推進を進めるうえで非常に問題がある言葉である事が分かるよう記載を追記してもらいたい。
- ◇固定的性別役割分担にもつながるような記載に修正したい。
- 「概要版」について、最後のページにTAMA女性センターの地図や施設紹介を加えてはどうか。また、多摩市とアイスランドの交流についても記載してはどうか。
- ◇ご提案を受け、修正案について検討したい。本日頂いた意見は、事務局預かりとして、こちらで反映作業を行っていく。修正後の計画は、来週2月25日の経営会議において報告し、その後議会へ報告する段取りとなる。審議会の皆様には、計画見直しに当た

り、多大なご協力をいただき感謝申し上げます。今後、計画をどう具体化していくか、来期に向けた取組の中で、改めてご協力頂きたい。

2 その他

◇次回審議会は、令和8年3月19日（木）17時開始を予定。計画の中間見直し版の報告のほか、任期最後の審議会となるので、これまでの審議の振り返りと次年度以降の審議内容等について審議を行って頂く。

以上